

第73回関東甲信静数学教育研究 東京大会参加報告

八千代西高等学校 岩井 剛

8月3日(金)～5日(日)の3日間に渡り、「第73回関東甲信静数学教育研究東京大会」が開催されました。今回は「第100回全国算数・数学教育研究(東京)大会」も兼ねており、「100年の伝統を踏まえた未来の算数・数学教育の展望」が大会の研究主題でした。



千代田区立麹町中学校

3日(金)の午前には文京シビックセンターを会場として全体会と記念講演が行われ、3日(金)の午後から4日(土)にかけては幼稚園・小学校部会が北区立王子小学校・王子桜中学校を、中学校部会が昭和第一高等学校を、高等学校部会が千代田区立麹町中学校を会場として、それぞれ行われました。

1 全体会

まずは、東京大会実行委員長の東京理科大学池田文男先生、日本数学教育学会会長の藤井齊亮様よりご挨拶がありました。

また、東京都教育委員会教育長の中井敬三様、文京区教育委員会教育長の佐藤正子様よりご祝辞をいただきました。

最後に、優れた実践研究を継続的に発表した学会員に送られる学会賞の表彰がありまし

た。今回は全国大会も兼ねていたため、例年の関東甲信静大会とは開会式の式次第も異なるようでした。

今回は「第74回関東甲信静数学教育研究千葉大会」が2019年11月19日(火)に本県を会場として開催されます。大会主題は「数学的活動を通して未来を拓く算数・数学教育」です。全体会・記念講演は千葉市民会館を、小学校部会は千葉市立登戸小学校を、中学校部会は千葉市立花園中学校を、そして、高等学校部会は千葉市立千葉高等学校をそれぞれ会場として開催されます。また、記念講演では、東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻特任研究員の宮地力先生にご講演いただく予定です。

2 記念講演

演題：「学ぶことの大切さと、研究することの楽しさー偉大な先人に学びつつー」

講師：藤島 昭 様(前東京理科大学学長)

「私の専門は化学ですが、数学や物理あるいは生物系を含めて、偉大な先駆者の足跡を調べると、そのすごさにはおどろきます。自らを律して常に学びたいものです。」

講演概要について、藤島先生からの言葉です。日本の自然科学分野を牽引してきた東京理科大学がどのように成り立ってきたのか、その歴史とそこに関わってきた多くの科学者の方々の業績を丁寧に紐解きながら、現在の科学界・教育界にも示唆に富んだお話をいただきました。また、中国の古典『管子』からの一節

一年の計は、穀を樹うるに如くはなく、
十年の計は、木を樹うるに如くはなく、
終身の計は、人を樹うるに如くはなし

を引用され、人を育てるといことが如何に大切なことであるのか、一生涯をかけるに値する尊いことであるのかということについてご講演いただきました。

3 高等学校部会分科会

千代田区立麹町中学校を会場として、3日(金)にはシンポジウムと分科会Ⅰが、4日(土)には部会講演と分科会Ⅱ・Ⅲが行われました。

シンポジウムでは、「これからの数学教育、どのように授業実践を進めるか」というテーマについて、大学・高等学校・中高一貫校の先生方5名から、新学習指導要領を踏まえた授業実践に関する提言がなされました。部会講演では、椛山女学園大学の浪川幸彦先生から「集合論的視点に基礎を置く高校数学教育の改革」という演題でご講演いただきました。分科会では15の分野に分かれ、各分科会ではそれぞれ3~4名の研究発表が行われました。



シンポジウム会場

なお、千葉県からは発表者が2名、指導助言者1名、司会1名、記録1名が分科会の運営に協力しました。内容は次のとおりです。

3.1 発表Ⅰ

発表者：善岡将大(生浜高等学校)
分科会：学習指導法・評価②分科会
テーマ：平成30年度計算力テスト実施結果とその考察

千葉県高等学校教育研究会数学部会研究委員会で17年間に渡って実施している「計算力テスト」の集計結果と、その考察、実施校

の先生方からの意見・感想などを報告。



分科会会場の様子

3.2 発表Ⅱ

発表者：岩井剛(八千代西高等学校)
分科会：数学Ⅰ①分科会
テーマ：「数学のよさ」を実感する授業実践例の研究－課題学習に焦点を当てて－
数学に対して苦手意識を持った生徒にも「数学のよさ」を感じてもらえるような授業実践例を提案することを目的として「課題学習」の授業を行った。その授業実践を報告。

3.3 指導助言、司会

「教育課程分科会」で上市善章校長(佐倉高等学校)が指導助言者を、三浦徳幸教諭(安房拓心高等学校)が司会を、伊能昌邦教諭(佐原高等学校)が記録をそれぞれ務めました。

4 都県代表者会議

東京理科大学1号館大会議室にて、都県代表者会議が行われ、千葉県高等学校教育研究会数学部会からは、部会長の上市善章校長(佐倉高等学校)、事務局長の岩井剛(八千代西高等学校)の2名が出席いたしました。

大会の総括、今後の大会開催県の確認などが取り上げられました。なお、来年度は千葉県が大会開催県となります。ご協力お願い申し上げます。